（別紙4（2））

事業所名 グループホームホームタウン宝木

作成日： 平成　30 年 2 月　23 日

# 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

**【目標達成計画】**

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2(2) | 近隣の方との交流が持てるよう、理髪店等の利用をさせていただいているものの、高齢に伴い理髪店の環境がご利用者様の利用することが難しくなってきている。 | 自治会の一員として、イベントや行事へできるだけ参加できるようにしていく。地域の方へ、Dsフロアを開放し、有効利用していただけるよう運営推進会議でPRし、つながりを持てるようにしていく。 | 施設でのイベントや行事にも参加をいただき、近隣住民の方との交流を深める取り組みをしていく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 4(3) | 運営推進会議で施設の状況や、ご利用者様の生の声を聞いていただいているものの、近隣住民の方との関係は深めてはいない。 | 今後、一緒に出来るイベントや行事等を運営推進会議で話し合い、地域の方との交流を深めお互いに助け合える関係を深められるようにしていく。 | 運営推進会議の中で、民生委員の方にご利用者様と一緒に出来ることを提示していただき、出来る範囲で地域住民の方と一緒に取り組み、関係性を築いていく。 | ヶ月 |
| 3 | 7 | 虐待の認識に個人差『温度差』があり、特に言葉遣いが意識せずにご利用者様へ発信されている。 | 研修や情報の共有と、もっと具体的に理解できるよう指導し、スピーチロックをなくし、環境を整える。 | 一人ひとりの意識の改革で虐待『スピーチロック』が、どのような場面で起こっているかを一人ひとりに気づいてもらい、日々職員が感じたスピーチロックをノートに書き出し、月1回の会議の中で全員が確認、理解、行動に移せる取り組みを行っていく。 | 6ヶ月 |
| 4 | 35(13) | 消防訓練、設備の点検等は行っている。火災の現場は台所となっており、他の所での想定を考え、東ドアからの避難となった場合、車椅子での対応が整備されていない。 | ほとんどが玄関か、DSフロアからの避難訓練であるため、東ドアからの避難訓練の実施を行っていなかった。東ドアより避難訓練を実施できるようのスロープの設置をする。（車椅子対応） | 危険がないよう高さ等を確認した上で、設置できるようにし、今年度の避難訓練で実施する。 | 10ヶ月 |
| 5 | 42 | 口腔内の清潔保持について、本人の出来る状態でやっていただいている。朝は起床時、昼・夕は食事後実施している。しかし口腔ケアは食事を摂る前に実施した方が、黴菌を一緒に飲み込まず、健康維持が図れる。 | 起床時のように、食事の前に口腔ケアをすることで雑菌を一緒に食さず保持できるため、昼食も夕食も食事をする前に口腔内を清潔にすることで雑菌が少しでも減少し、日々健康状態も安定していく。 | 職員の中には食後の口腔ケアをすればよいという考えで実施している者もいる。職員一人ひとりに口腔ケアの重要性について知識を得ていただき、ご利用者様への健康維持に役立てていく。 | 6ヶ月 |

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。